

* 対象学校種：小学校

1 博士号教員氏名	遠藤 金吾
2 授業のタイトル	【実習】タンポポの綿毛を作ってみよう
3 授業のねらい・育てたい力	身近な材料を用いてタンポポの綿毛の模型を作り、飛ばしてみることによって、タンポポなどの植物がなぜ遠くまで種を飛ばすのかを考察するとともに、何度も種を飛ばし、実験を繰り返し、結果をまとめることを通じ、情報処理能力を身に付ける。
4 授業の概要	【内容】いろいろな紙(何種類も用意して比べる)を、綿毛のカタチにする。風のないところで、2mくらいの高さからそっと手をはなしてみ、飛んだ距離を測定する。グループごとに飛んだ距離をまとめて、どのような条件でどう飛んだかを比較する。 【材料】 ・紙（色模造紙やチラシの紙など）、発泡スチロールの薄板、クリアファイル（またはOHPのシートなど） ・はさみ ・のりまたはボンド（セロテープでもよい） ・ゼムクリップ（おもりに使う、ビニールテープでもよい） ・メジャー（10m くらいまであるもの）  (参考文献： http://www.tohoku-epco.co.jp/new_naze/koubou/oneday/jikken/06.html)
5 必要機材等	紙、はさみ、のりまたはボンド、ゼムクリップ、メジャー。その他、プロジェクター、スクリーン、PC がある場合は使用したい。